

平成24年度

橋梁技術発表会及び講演会

— 快適環境をつなぐ鋼橋 —

参加費無料
定員 **650** 名
申込先着順

13:00~13:10

開会の辞

一般社団法人 日本橋梁建設協会
会長 屋間 祐治

13:10~13:40

橋建協報告

次世代に贈る100年橋梁
— 鋼橋の長寿命化に向けて —

企画委員会 広報小委員会

平成24年

日時

10

12 (金)

13:00~17:45

会場

銀座ブロッサム(中央会館)ホール

〒104-0061 東京都中央区銀座2-15-6
Tel.03-3542-8585

申込方法

- ① Fax. 03-3507-5235 (裏面の用紙に記載)
② ホームページ(URL) <http://www.jasbc.or.jp/>
の「技術発表会申し込み受付」まで(受付は9月初旬から)

申込期限

平成24年9月28日(金)

懇親会

銀座ブロッサム7階「マーガレット」にて18時00分から開催します。
参加ご希望の方は、発表会当日受付にてお申し込みください。

連絡先

一般社団法人 日本橋梁建設協会
〒105-0003 東京都港区西新橋1-6-11
西新橋光和ビル9階 Tel. 03-3507-5225

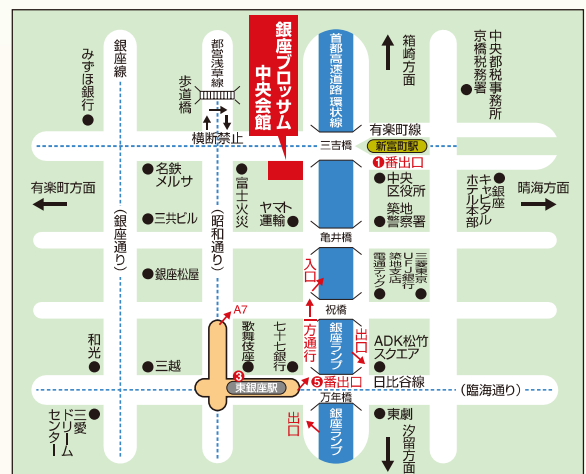
継続教育

CPDS認定予定

※大阪地区は 10月26日(金) ドーンセンター
東北地区は 11月 7日(水) 仙台国際センター
中部地区は 11月16日(金) 東建ホール・丸の内
九州地区は 11月22日(木) レソラNTT夢天神ホール 開催です。
申し込み等詳細はホームページでご確認願います。

発表原稿のPPTはホームページに掲載しますので、ご希望のかたは
ダウンロードするようお願いします。

アクセス



- 東京メトロ有楽町線「新富町駅1番出口」徒歩1分
●東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線「東銀座駅3・5番出口」徒歩8分

第1部:技術発表会

13:40~14:20

1.徳島東環状線

阿波しらさぎ大橋の工事報告

— ケーブルグレット形式橋梁の設計と架設 —

技術委員会 設計小委員会 架設小委員会 松原 薫

14:20~15:00

2.鋼橋の耐久性向上に関する取組み

— 溶接部の止端仕上げと耐候性鋼材の腐食減耗量の予測 —

技術委員会 製作小委員会 村上 貴紀
鈴木 克弥

15:00~15:10

休憩

15:10~15:50

3.トルコ共和国耐震補強工事報告

— 長大吊橋の耐震補強工事 —

企画委員会 国際小委員会 北山 暢彦

第2部:伊藤學賞表彰式

15:50~16:05

1.表彰式

16:05~16:30

2.受賞者挨拶(伊藤學賞受賞者)

16:30~16:40

休憩

第3部:特別講演会

16:40~17:40

1.国土教育と虹橋の未来

国土交通省
国土技術政策総合研究所
総合技術政策研究センター
建設マネジメント技術研究室
室長 森田 康夫



17:40~17:45

閉会の辞

橋梁技術発表会実行委員会委員長 上原 正

技術発表会概要

1 徳島東環状線 阿波しらさぎ大橋の工事報告

ーケーブルグレット形式橋梁の設計と架設ー

阿波しらさぎ大橋は、徳島市の吉野川河口から約2kmを横断する橋梁で、架橋地点にある干潟の区間は希少生物保護のため橋脚を設置せず長大支間とし、干潟に飛来する鳥類への配慮から主塔が低くケーブル段数の少ない世界で類のない構造の4径間連続ケーブルグレット形式とした。架設は側径間を台船一括と張出し工法とし、中央径間は架設ケーブルによる斜吊り併用のトラベラクレーンで張出し架設し、閉合後に本ケーブルを設置した。

2 鋼橋の耐久性向上に関する取組み

ー溶接部の止端仕上げと耐候性鋼材の腐食減耗量の予測ー

溶接部の止端仕上げに関する研究成果と耐候性鋼橋梁のワッペン式暴露試験について報告する。はじめに「道路橋示方書」における止端仕上げについて、止端半径3mm以上に仕上げることで規定の強度等級を満足するとの研究成果と実務上の施工管理方法を示した「溶接止端仕上げの手引き」について報告する。次に、耐候性鋼橋梁の耐久性に大きく影響する腐食減耗量を、簡易的かつ短期間で精度良く予測可能な「ワッペン式暴露試験」が近年試験的に適用され始めているが、この具体的な試験方法や評価手法を紹介する。

3 トルコ共和国耐震補強工事報告

ー長大吊橋の耐震補強工事ー

トルコ共和国におけるイスタンブール長大橋耐震補強プロジェクトは日本の特別円借款によって実施され、株式会社IHが受注し施工を行った。本プロジェクトでは、地震災害時に最も重要である路線が選定され、その中には第1および第2ボスボラス橋などの長大吊橋や新旧ゴールデンホーン橋などの鋼桁、およびコンクリートの桁橋が含まれている。ここではこれら耐震補強工事の設計、架設など、工事の概要について紹介を行う。

特別講演会 講演者紹介

1 国土教育と虹橋の未来

森田 康夫

国土交通省 国土技術政策総合研究所
総合技術政策研究センター
建設マネジメント技術研究室 室長

講演概要

現在、われわれが享受している豊かで安全な生活は、われわれのご先祖様が農業基盤や交通基盤を整備し、川を治め、水資源を開発するなど、絶え間なく国土に働きかけることによって、国土から恵みを返してもらってきた歴史の賜物である。

従って、現代に生きるわれわれの世代も、国土に対して働きかけを続け、将来世代に対して、より良い社会基盤を引き継いでいかなければならない。本講演では、柳田國男の社会科教育やフェルナン・ブローデルの歴史教育にもふれながら『国土教育』の現状・課題と今後の方向性について明らかにするとともに、社会基盤としての鋼橋を如何に後世に残していくべきかについて展望する。

ー略歴ー

- 氏 名
森田康夫(もりたやすお / morita yasuo)
- 生年月日(西暦)
1966年3月22日
- 出生地(都道府県)
三重県
- 出身校・卒業年
京都大学工学部土木工学科・S63年卒(同年4月、建設省入省)
- 現 職
国土交通省 国土技術政策総合研究所 総合技術政策研究センター
建設マネジメント技術研究室 室長 (2011.4～)
- 代表的なこれまでの職歴
国土交通省 東北地方整備局 郡山国道事務所 所長 (2003年)
国土交通省 道路局 国道・防災課 企画専門官 (2005年)
(財)国土技術研究センター 技術・調達政策グループ 副総括 (2008年)

FAX番号:03-3507-5235

平成24年度

10月12日(金)

橋梁技術発表会

[東京地区]

参加申込書

所 属

団体名

所属

氏 名

役職

氏名

住 所

〒

電話番号

FAX番号

E-mail

前回参加の有無 有 ・ 無